

平成31年 第6回帯広市教育委員会会議録

1. 平成31年 4月24日 水曜日 16時 ～ 17時

帯広市教育委員会会議を帯広市役所 教育委員会室に招集する。

2. 本日の出席委員

教 育 長	嶋 崎 隆 則
教 育 委 員	田 中 厚 一
教 育 委 員	藤 澤 郁 美
教 育 委 員	佐々木 しゅり
教 育 委 員	塩野谷 和 男

3. 本日の議事日程

日程第 1 会議録署名委員の指名について

日程第 2 報告第 11 号 教育長職務代理者の指名について

日程第 3 議案第 16 号 帯広市社会教育委員の解職について

議案第 17 号 帯広市社会教育委員の委嘱について

日程第 4 議案第 14 号 帯広市奨学条例施行規則等の一部改正について

日程第 5 報告第 12 号 おびひろ動物園魅力アップ検討委員会報告書について

日程第 6 その他 (1) 帯広市議会3月定例会の報告について

その他 (2) 今後の事業予定について

その他 (3) 寄附受納について

その他

日程第 7 議案第 15 号 教職員の処分内申について【秘密会】

嶋崎教育長

ただいまから、平成31年第6回帯広市教育委員会会議を開会いたします。

出席委員は全員であります。

会議は成立しております。

ここで諸般の報告をいたします。

(佐藤企画総務課長 報告)

日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、藤澤委員及び佐々木委員を指名いたします。

日程第2、議案第11号、教育長職務代理者の指名についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

中野 部長

報告第11号、教育長職務代理者の指名についてご説明申し上げます。議案書の33ページをご覧ください。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項におきまして、教育長に事故があるとき、又は教育長が欠けたときは、あらかじめその指名する委員がその職務を行うと定められておりますことから、教育長が平成31年4月1日付で再任されました田中厚一委員を教育長職務代理者と指名し、田中委員より承諾をいただきましたのでご報告申し上げます。

これから質疑に入ります。

ありません。

嶋崎教育長
各 委 員
嶋崎教育長

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

日程第3、議案第16号、帯広市社会教育委員の解職について及び議案第17号、帯広市社会教育委員の委嘱について一括して議題といたします。

直ちに説明を求めます。

草森 部長

議案第16号、帯広市社会教育委員の解職について及び議案第17号、帯広市社会教育委員の委嘱について一括してご説明いたします。議案書の27ページをご覧ください。はじめに議案第16号、帯広市社会教育委員の解職についてご説明いたします。本案はこれまで社会教育委員に委嘱しておりました、宮津尚美氏及び堂山貴也氏より、本年3月29日付で委員を辞任したい旨の申し出がありましたことから、解職しようとするものであります。次に議案書29ページ、議案第17号、帯広市社会教育委員の委嘱についてご説明いたします。本案は委員の解職に伴い、後任委員として、朝倉洋一氏及び藤崎禎人氏を委嘱しようとするものであります。委嘱期間につきましては、帯広市社会教育委員の委嘱の基準、定数及び任期に関する条例第3条に基づき、前任者の残任期間であります平成31年7月31日までとなります。以上よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

嶋崎教育長
各 委 員
嶋崎教育長

これから質疑に入ります。

ありません。

別になければ質疑を終結します。

お諮りいたします。

議案第16号、帯広市社会教育委員の解職について外1件は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

各 委 員
嶋崎教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、議案第16号外1件は決定されました。

日程第4、議案第14号、帯広市奨学条例施行規則等の一部改正についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

中野 部長

議案第14号、帯広市奨学条例施行規則等の一部改正についてご説明いたします。議案書1ページからになります。本案は帯広市奨学条例施行規則外11件の規則について、元号の改元により、申請用紙などの様式の一部を改正いたしますほか、併せて所要の整理を行うものでございます。改正の内容といたしましては、議案参考資料13ページ以降に同規則の新旧対照表を添付しておりますので、ご覧いただきたいと思っております。説明は以上であります。よろしくご審議いただきますようお願いいたします。

これから質疑に入ります。

ありません。

別になければ、質疑を終結します。

お諮りいたします。

議案第14号、帯広市奨学条例施行規則等の一部改正については、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

嶋崎教育長
各 委 員
嶋崎教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、議案第14号は決定されました。

日程第5、報告第12号、おびひろ動物園魅力アップ検討委員会報告書についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

各 委 員
嶋崎教育長

草森 部長

報告第12号、おびひろ動物園魅力アップ検討委員会報告書についてご報告いたします。議案書35ページをご覧ください。報告書の提出にあたりましては、おびひろ動物園魅力アップ検討委員会におきまして、昨年8月から本年3月にかけて合計5回にわたり検討委員会を開催し、議論を重ねていただきました。幅広く意見をお聞ききするため、本年1月には、おびひろ動物園の魅力アップを考えるフォーラムを開催し、報告書に提言をしてきたところでございます。その後3月29日に、嶋崎教育長へ報告書が提出されましたので本日教育委員会会議にご報告するものであります。それでは報告書の概要についてご説明いたします。お配りしております報告書の

裏面の目次をご覧ください。構成につきましては、1. 現状と課題、2. おびひろ動物園に求められる機能、役割、可能性、3. 魅力アップの方向性についての3章で構成されております。それぞれの詳細につきましては省略させていただき、要旨のみご説明させていただきます。はじめに1ページ、1. 現状と課題では、社会情勢を踏まえた現状の変化や動物福祉への配慮、道内の動物園とおびひろ動物園の現状と課題について、次に2ページ、2. おびひろ動物園に求められる機能・役割、可能性については、前章での現状と課題を踏まえ、利用者に期待される機能、役割、今後の可能性について、最後に4ページ、3. 魅力アップの方向性については、前章での動物園に期待される機能や役割を踏まえ、それを具体的に実現するための効果的な取り組みについて考え方を整理しております。なお、参考資料として、委員名簿、検討経過、検討概要を添付してございます。生涯学習部といたしましては、本報告書を踏まえまして、事業を具体化していくため関係部署と連携しながら、おびひろ動物園魅力アップ推進プランの策定作業を進めてまいりたいと考えております。説明は以上であります。

嶋崎教育長
藤澤 委員

これから質疑に入ります。

報告書を読ませていただきまして、市長公約でもあります、子どもから高齢者まで楽しめる動物園をコンセプトに多方面にわたり検討されていると思いました。改めて市民が楽しめて、学習できて、観光も含めた動物園を目指さなければならないと感じました。今後、すぐに実施できるものと、長いスパンで考えなければならないもの、予算の関係もありますので、効率よく実施していただきたいという感想を持ちました。何度も入園したい、わくわく感のある魅力ある動物園を目指していただきたいという感想です。それから、質問ですが、動物関連の知識を持つ者、あるいは業務に適性と熱意のある者が長く勤務できる体制が望ましいと書いてあります。専門の飼育員の採用は考えておりますか。もう1点、カフェの新設やキッチンカーなどの飲食店営業について、臨時的な行商販売とありましたが、直近のゴールデンウィークに実施できるものはあるのかお聞きしたいと思えます。

柚原 園長

ご質問中、専門員につきましては、円山動物園が先んじて専門員を導入しております。私たちも動物に携わる者は長く勤務できるのが望ましいのですが、庁内の問題でもありますので、関係課と協議をしながら、専門員の推進になればいいと考えております。カフェにつきましては、ゴールデンウィーク初日から1週間だけ、パンケーキやドリンクなどの販売していただけるようになっております。

藤澤 委員
田中 委員

ありがとうございます。

今までこういう形で動物園に対する検討報告書を聞いたことがな

かったので、非常に画期的だと思って読ませていただきました。数字の確認をさせていただきたいと思います。誤植なのかあえてそうしているのかわかりませんが、2ページの(1-3)に毎年17万人前後とあり、一方、検討委員会では、毎年18万人となっています。細かい話ですが、そのまま読んで構わないのでしょうか。実は17万人、もしくは18万人という数字は、道内の他の動物園、円山と旭山と釧路と比べて、人口規模が違うということではありますが、どのような位置づけと考えればいいのでしょうか。2つ目、ぜひ聞いてみたかったことが1つあって、2ページの一番下に生涯学習の推進のところで、おびひろ動物園は国内の動物園では珍しく、教育委員会所管、かつ博物館相当施設の指定を受けているとあります。実はあまり一般的には知られていないことだと思います。おびひろ動物園は教育委員会所管で、円山動物園はわかりませんが、旭山動物園は確か観光部局だと聞いています。おびひろ動物園自体が非常に稀なケースで成り立っているだろうと勝手な理解をしていますが、そのメリット、デメリットについて、おびひろ動物園でできること、できないことがあるのかどうかお聞きしたいと思います。例えば、観光部局であれば、もっと観光に力を入れた方向性でやれるが、教育委員会所管だと、単純な話にはならないということもあるのかもしれないと思いました。3つ目、学習機会の提供ということ、どんどん新しい動物を導入するのは難しい状況でありますから、どのような形でおびひろ動物園の魅力を上げていくかということでは、学びの提供ということになるだろうと思います。具体的にはどういう形でやっていけばいいだろうかと、これを読みながら考えていました。できて少したった頃の旭山動物園は、見せ方が完全に違っていて驚きました。私の記憶に間違いがなければ、それぞれの飼育員の方がそれぞれの部門を持っていて、「私たちの方へ来てください。こういう見せ方をします」というような、園の中でもお客さんの取り合いとは言いませんが、見せ方としては非常に特徴的だったという記憶があります。おびひろ動物園も同じやり方をしようとは申しませんが、それぞれの飼育員の特徴を生かした見せ方、学ばせ方をどんどんやられたらいいと思って見ておりました。そのあたり議論になっていけば、教えていただきたいと思います。

柚原 園長

ご質問中の17万人、18万人については、私どもも気が付きませんでした。ここ最近、大体17万、18万人という数でございます。それから、道内の動物園につきましては、円山動物園は報道にもありましたけれど、年間100万人を超えました。旭山動物園は150万人、釧路市動物園は15万人だと記憶しております。地域性もあると思いますし、田中委員もおっしゃられたように観光の目玉となっていることもあります。円山動物園はかなり大規模なホッキ

ヨクグマの獣舎を建てまして、集客力を高めてきたところでは、私たちは必ずしもそれに習えとか、そこまでの数字を想定しておりませんが、地域に根差した動物園づくりを目指していきたいと思っております。それから、教育施設としての動物園につきましては、お隣の釧路市動物園も教育委員会所管でございまして、日本動物園水族館協会に入っている園館では、全国で帯広と釧路と長野県大町市にある博物館の3園館だけ、教育委員会所管というのは全国的にも珍しいということです。メリットとしては、横のつながりができること、教育委員会や北海道の博物館とのつながりもできていますので、かなり広範囲に交流が持てて良いところを吸収させていただいております。生涯学習部の中にありますので、図書館や百年記念館との連携も深められ、やりやすい環境にあると思います。最後のご質問で学習機会の提供ということですが、今も毎日飼育員がスポットガイドということでお客様にご説明させていただいております。また、スクラップアンドビルドで、今いろいろな企画を立てております。まだ、何が正解なのか掴めませんが、押し付けにならないように、入園していただいたら何か覚えていただくということで、まだ始めたばかりですので、精度を上げてお客様が望むことに取り組んでいきたいと考えております。

田中 委員

帯広は街の真ん中であって非常にレアな動物園だと聞いております。メリットをどんどん生かしてがんばっていただければと思います。

佐々木委員

要望も含まれるのですが、何点か質問したいと思います。一番気になっているのが、動物園に行くと、ここにも書いてありますけれど、老朽化した空いた獣舎がかなり目立ちます。入園者の方たちの印象はかなり変わってくると思います。他に楽しい動物はたくさんいるのですが、段々さみしい気持ちになります。空いた獣舎の見た目だけでも何とかならないかとよく思っています。すぐに実現はできないでしょうけれども、各檻に動物がいることが一番望ましい形だと思います。以前、教育委員会会議でお金の問題ではなくて、動物を新しく導入できないのは、獣舎を新しくしないといけなからとお聞きしたので、お金さえ許せば、早急に取りかかるべきなのは獣舎の改築だと思います。どのくらいのお金がかかるのかわかりませんが、最近はやめ基金への寄附も増えているので、目処が立ちそうな範囲で獣舎についてももう少し詳しく教えてください。それから、誰もが利用できる施設として、いろいろなところに書かれていますが、動物園へは小さい子どもや赤ちゃんを連れた親御さんが多いと思います。私の経験からも、小さい子どもを抱えて今日はどこへ行こうかと考える時に、お母さんたちが一番気にするのは、いざという時に、授乳がしやすく、おむつ替えもしやすく、なおかつ

清潔感のあるところですよ。ざっくばらんな話をする時に、いろいろな施設のおむつ替えの場所などについて、あそこは汚れたままだったとか、あそこはきれいだったとか、入りやすいなど、いろいろな情報交換をします。それから、暑い時期になると、子どもはすぐにのぼせるので、日陰で休めるところがあつて、すぐに水分補給もしやすい場所があること。お母さんたちが今日はどこに行こうか決める時に、動物園が消去法で消えてしまわないようになればいいと思います。お母さんたちはただでさえ毎日へとへとなので、できるだけ子どもを連れて大変な思いをしたくないわけです。動物園は子どもを連れて行くのに、ストレスなく楽しめる場所というイメージをお母さんたちには持ってもらいたいので、施設を新しくする時には、そういう目線でやっていただきたいと思います。

柚原 園長

ご質問中、空き獣舎が目立つというお話については、佐々木委員がおっしゃるとおり、カバ舎もアシカ舎も昭和の時代に建てた獣舎でありますので、動物の福祉の面から現場の者と話し合いまして、もうこれ以上継続して飼うことはできないという判断をしてまいりました。壊して更地にして芝生などにすればいいとは思いますが、それも予算があり、まずはこの検討委員会がどういう方向へ向かうかということ待ちながら、中長期的なところで獣舎の対策もさせていただければと思っております。授乳室や休憩所等については、この検討委員会でも一番話題になっていたところで、園路もガタガタというお話もいただいております。まずは獣舎に係わらないところから取り組んでいこうという話し合いも進めております。

佐々木委員
塩野谷委員

ありがとうございました。

今、いろいろお話があり、獣舎は予算の問題がありますけれど、魅力アップをさせるためには、現在、象も高齢ですし、魅力ある動物の導入の計画、また、遊具施設は子どもたちが楽しんでいると聞きますが、それもかなり老朽化していて、それについても新しく導入するのかどうか、今、お話にあった歩道の問題など、予算的にはかなりかかりますが、いつかは導入したり、補修したりする必要があるのではないかと。予算の範囲内で、現状維持でいくにはかなり限界があると思います。10年を見据えてと書いてありますけれど、今度の総合計画の中に予算を入れて、動物園の再開発について思い切った魅力づくりをしたらいいのではないかと思います。帯広は入場者数17万人、旭山は150万人ということですが、2倍、3倍のたくさんの人に来てもらうように、魅力が高まれば、多少の入園料は上げてもいいのではないかと思います。安易な考えかもしれないが、それだけ力を入れたら、10年、20年の維持コストを考えても投資回収できるのではないかと思います。何かやらないとだめではないかと思えます。これから10年計画を立てるということですから、

学習機能も含めた魅力ある動物園の絵を描いてみてはどうか、私の思いだけを語りました。

柚原 園長

塩野谷委員のおっしゃるように、私たちもそういう思いはあります。まずは地元根付いた、地域性を生かした動物園ということで取り組んでいながら、中長期的な10年先の計画も立てられたらと思っております。

佐々木委員

もう1点質問します。恥かしながらしばらく動物園に行っていないので、もし、既に行っていたら申しわけないのですが、動物園内で、象はあっち、キリンはあっちなど、子どもたちはマップを見ながら歩くわけではないので、子どもたちにとって、わかりやすいサインなり、絵でも字でもいいのですが、目を引くような掲示物が配置されていたら、子どもたちも回りやすいと思います。人気があるのが飼育員さんの餌やりです。人気があって聞いていても楽しいし、段々人が集まってきて、良い光景だと思っております。入り口や何か所かに時間の掲示がしてあれば、始まる時間がわかって楽しめるのではないかと思います。もし、既に行っていたら失礼しました。

柚原 園長

サインのお話については、私どももサインは掲げているのですが、子どもたちの目線ではわかりにくいかもしれませんので、再考させていただければと思います。飼育員のスポットガイドにつきましては、現在、10時にブログを上げます。正門、南門に時間を掲示しております。10分、15分前には園内放送でお知らせしておりますので、活用していただいていると思います。

佐々木委員
嶋崎教育長

ありがとうございます。

話にあったとおり、報告書の段階でありますので、この後これに沿ってどのようなものを計画していくか、また、別途ご審議いただくことになるかと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

他になれば、質疑を終結し、本件を終了します。

日程第6、その他に入ります。

その他(1)帯広市議会3月定例会の報告についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

山下調整監

帯広市議会3月定例会における質疑のうち、学校教育部に関する質疑の概要についてご報告いたします。議案書37ページをご覧ください。今回は代表質問5名中4名、一般質問15名中4名、予算審査特別委員会11名中8名の議員から質問がございました。はじめに、代表質問で大塚徹議員の質問中、コミュニティ・スクールの進め方に関しての質問に対しては、地域と連携した活動が活発に行われている学校から先導的に導入する旨を答弁、次に給食費改定の判断基準の必要性についての質問に対しては、一定の判断基準に関する考え方を整理する旨を答弁しております。次に檜山直義議員の

質問中、小中一貫教育推進の考え方についての質問に対しては、基本方針に基づき、各エリアの実情を踏まえながら着実に推進していきたい旨を答弁、次に教職員の長時間労働の現状に対する認識についての質問に対しては、教職員の時間外勤務の状況は依然として高い水準にあり、実効性のある取り組みを進めていく必要があると認識している旨を答弁しております。次に鈴木正孝議員の質問中、部活動のあり方に関するガイドラインを国が策定したことを受け、各学校での取り組みの方向性についての質問に対しては、今後、道教委が策定した方針を参考に市教委が部活動の方針を策定するとともに、各学校においても活動方針を策定する旨を答弁しております。次に大竹口武光議員の質問中、持続可能な開発目標（SDGs）の考え方を活かした教育の今後の取り組みについての質問に対しては、次期学習指導要領の実施に向けて、研修講座等の機会を活用し、理解促進と効果的な指導方法の研究を行っていききたい旨を答弁しております。次に一般質問の播磨和宏議員の質問中、通学路の安全確保に向けた取り組みの質問に対しては、通学路の緊急合同点検を実施し、危険箇所について、関係機関に対応を依頼しているほか、学校ごとに作成する安全マップによる周知啓発や保護者や地域の方々による見守り活動により、安全の確保に努めている旨を答弁しております。次に佐々木直美議員の質問中、学校給食による食育の取り組みに関する質問につきましては、生産者との交流などを通して、農業を中心とした地域産業への理解と感謝の気持ちが深まるよう食育活動を推進している旨を答弁しております。次に38ページ、有城正憲議員の質問中、農村地域の適正規模の確保等に関する取り組みについての質問につきましては、近隣校との交流など、小規模化の影響を緩和する取り組みを行うとともに、保護者や地域住民の方々に適正規模の確保等の必要性などについて理解をいただくよう努める旨を答弁、長寿命化改修の進め方の質問につきましては、各学校の劣化状況を表す指標を基本としつつ、児童生徒数の推移等を総合的に勘案して決定する旨を答弁しております。次に大和田三郎議員の質問中、通学路の設定基準に関する質問につきましては、通学路の設定にあたっては、児童の分布状況、通学の順路、横断歩道や信号機の設置状況など交通安全面や防犯面等を勘案しながら、校長が設定している旨を答弁しております。この他39ページに予算審査特別委員会での質疑について、それぞれ記載のとおり質問があったところでございます。学校教育部に関する報告は以上です。

森川調整監

帯広市議会3月定例会における質疑のうち、生涯学習部に関する質疑の概要についてご報告いたします。議案書37ページにお戻りください。今回は代表質問2名、一般質問2名の議員から、議案審査特別委員会1名、予算審査特別委員会6名の委員から質問がござ

いました。はじめに、代表質問では、大塚徹議員の質問中、主要な施策の具体的な推進方策の質問に対しては、新しい文化振興指針の策定の進捗状況に関し、文化団体との懇談や文化団体、公演の鑑賞者、施設利用者を対象にしたアンケートの結果を参考に指針のあり方について検討を深めていく旨の答弁をしております。また、スポーツによる健康長寿社会の実現へ向けた取り組みに関し、高齢者はもとより、年齢や性別、障害等を問わず、広く市民がスポーツに参加することができるよう、スポーツ振興を図っていく旨の答弁をしております。次に、鈴木正孝議員の質問中、スポーツのまちづくりの質問に対しては、スポーツ振興室の市長部局への組織変えの考え方に関し、市全体の組織のあり方については、執行機関を含め様々な論点から検討を行っており、効果的で効率的な組織体制づくりにつなげていく旨の答弁をしております。また、スポーツ施設の今後整備に関し、長期的な視点から個別施設計画の策定作業を行っているところであり、計画的な維持管理の方向を整理し対応していく旨の答弁をしております。さらに指導者の育成に関しまして、スポーツ団体と連携し、少年団指導者や競技団体指導者の確保や専門性を高める取り組みを進めている旨の答弁をしております。次に一般質問ですが、木幡裕之議員の質問中、帯広の森運動施設に関する質問に対しては、施設の老朽化への対応を含めたスポーツ振興に対する考え方に関し、多様なスポーツ活動への環境づくりを進めるためにも、スポーツ施設全体の将来のあり方を整理し、市民が日常的にスポーツに親しみ、楽しみ、スポーツを支える活動につながるよう努めていく旨の答弁をしております。次に石橋勝美議員の質問中、魅力ある観光地づくりに関する質問に対しては、おびひろ動物園魅力アップ推進プランにおける観光の視点に関し、子どもから高齢者まで幅広い市民の利用はもとより、観光客も含めた多くの方々にとって魅力ある動物園となるよう幅広い視点を持ちながらプランを策定し、実現に努めていく旨の答弁をしております。この他、議案審査特別委員会では、38ページの記載のとおり1名から、予算審査特別委員会では、39ページの記載のとおり、6名の委員から質問があったところでございます。生涯学習部に関する報告は以上です。

これから質疑に入ります。

コミュニティ・スクールに関しての質問がありましたけれど、今年度のコミュニティ・スクールの実施校はもう決まっていますか。

今、各学校と協議しているところで、今日現在、まだ具体的な学校名はお示しできない状況でございます。

ありがとうございます。

39ページの菊池ルツ議員から院内学級についてと、播磨議員の学校司書について、具体的にどのような質問だったか教えていただ

嶋崎教育長
藤澤 委員

佐藤 課長

藤澤 委員
佐々木委員

けますか。

山下調整監

菊池ルツ議員からの院内学級の件ですけれど、現在、厚生病院に院内学級が設置できる状況にあるのですが、現状として、先生となり得る方の確保が難しい状況にあり、ここ2、3年開設できていない状況にございまして、今の状況について説明させていただいたところでございます。1ヵ月以上の長期の入院の場合に設置できる要件があるのですけれど、議員からは、実際には1ヵ月満たない方でしたが、当初の見込みでは1ヵ月以上という問い合わせに、先生の確保ができなくて開設に至らなかったという事実があったことも含めて説明させていただきました。播磨議員につきましては、学校司書について、現在、専門の学校司書は配置しておりませんが、図書ボランティアの方などを活用しまして、その取り組みについて、今後も継続していきたい旨を答弁してございます。予算上の確保の観点もありますので、設置に向けては今後も検討していく必要があらうかと思っております。

佐々木委員

学校司書は予算の問題もあると思っておりますけれど、予算があったとして、人材的には集まりそうなのでしょうか。

山下調整監

学校司書に係わらず、図書館司書もそうですけれど、資格をお持ちの方はいらっしゃると思いますが、勤務時間等がフルタイムの勤務条件はなりにくいところがありますので、すぐに集まる状況にはないかと思っております。

佐々木委員

ありがとうございます。

藤澤 委員

院内学級についてお聞きしたいと思っております。病院としては場所を提供して、先生は教育委員会で配置するというのでしょうか。人材がいないので休止しているというのは、そのままにしていけないのでしょうか。位置付けがわからないので教えてください。

山下調整監

院内学級の先生については、道教委が任命することになりますので、こちらは要望を上げていく立場となります。病院につきましても、移転した厚生病院に場所の確保はしてございますので、要件が整えば開設できる状況にはなっております。

藤澤 委員

ありがとうございます。

嶋崎教育長

他になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

その他(2)今後の事業予定についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

山下調整監

学校教育部の5月の主な事業予定についてご説明いたします。議案書41ページでございます。教育研究所では、帯教研事務局会議を5月10日に、校内研究推進協議会を5月15日に予定してございます。以上です。

森川調整監

続きまして、生涯学習部の主な事業予定についてご説明いたします。生涯学習課では、帯広市民大学講座、帯広駅の歴史と交通体系

の変遷など5講座をご覧の日程で、とまちプラザなどで予定しております。43ページ、文化課では、本日お手元にパンフレットをお配りしております。市内の文化団体によりますおびひろ市民芸術祭を5月2日から28日まで市民文化ホール等で予定をしております。次に図書館では、昨日から始まりまして、こどもの読書週間にちなみ、おりがみ de ありがとうなどの関連事業をご覧の日程で開催する予定でございます。また、5月24日から30日までの特別整理期間の休館に伴いまして、5月10日から23日まで貸出拡大を予定しております。45ページ、百年記念館では、フィールドワークを行いながら学ぶ連続講座、地質講座を5月26日から11月27日まで全6回を予定しております。次に動物園では、5月11日、12日に飼育体験を予定しております。最後にスポーツ振興室では、帯広市健康スポーツ推進委員会総会などの会議をご覧の日程で予定しております。以上です。

嶋崎教育長
各 委 員
嶋崎教育長

これから質疑に入ります。

ありません。

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

その他(3)寄附受納についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

佐藤 課長

企画総務課の寄附についてご報告いたします。議案書47ページでございます。市内在住者の方から4件、計7万円をこども学校応援地域基金にご寄附いただきました。以上です。

藤沼 課長

学校教育課につきましては、学校教育の振興のための奨学事業や教育の研究に役立てるためとして、市外在住者の方から計9件、18万2千円のご寄附をいただきました。以上です。

前原 館長

図書館からは、帯広市図書館友の会様、市内の法人の2件、101万5千円を図書資料充実のためとして、ご寄附いただいております。以上です。

柚原 園長

動物園からは、議案書48、49ページとなります。市外在住者の方から20件、総額140万6千円のご寄附をいただいております。コープさっぽろ様におかれましては、11回目、総額1,551万4,361円となります。以上です。

嶋崎教育長
各 委 員
嶋崎教育長

これから質疑に入ります。

ありません。

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

事務局から、その他説明事項はありますか。

事 務 局
嶋崎教育長

ございません。

事務局からは特にないようですが、各委員からご意見、ご質問等があれば、お受けいたします。

各 委 員

ありません。

嶋崎教育長

別になければ、ここで会議の進め方についてお諮りいたします。
日程第7の案件については、帯広市教育委員会会議規則第16条
第1項第2号により、秘密会にしたいと存じます。

各 委 員
嶋崎教育長

これにご異議ありませんか。

ありません。

ご異議なしと認め、そのとおりに取り扱いたします。

これより会議を秘密会といたします。

(以下 非公開)

嶋崎教育長

以上で本日の日程はすべて終わりました。

これをもちまして、平成31年第6回帯広市教育委員会会議を閉
会いたします。